

令和元年

第9回福岡県教育委員会会議（定例会）会議録

日 時 令和元年5月9日（木）
開会14時00分 閉会14時20分

場 所 福岡県庁4階 教育委員会会議室

【議事等】

1 報告

(1) 令和2年度教員採用試験について

【内 容】

1 出席者

教育長：城戸秀明

委 員：清家渉、久保田誠二、宮本美代子、前田恵理、木下比奈子

2 欠席者

なし

3 出席職員

副教育長 吉田法稔、教育監 中島良博、教育総務部長 木原茂、

教育振興部長 上田哲子、総務企画課長 谷本理佐、教職員課長 松永一雄 外

4 傍聴者等数

2名

5 議事録

【城戸教育長】

ただいまから第9回の教育委員会会議定例会を開催いたします。

傍聴の方に申し上げます。

受付で配付された「傍聴人の留意事項」を遵守し、会議進行の妨げにならないよう御協力ください。

本日の案件につきましては、お手許に配付している資料のとおりでございます。

審議に入ります前に、非公開発議の有無を確認いたします。

非公開で審議することが適当なものはございませんでしょうか。

< な し >

【城戸教育長】

発議がありませんので、本日の会議は公開にて審議します。

それでは、報告(1)「令和2年度教員採用試験について」を松永教職員課長お願いいたします。

○報告（１） 令和２年度教員採用試験について

【松永教職員課長】

それでは令和２年度教員採用試験の概要につきまして説明させていただきます。

＜松永教職員課長が資料に沿って説明＞

【松永教職員課長】

説明は以上でございます。よろしくご審議のほどお願いいたします。

【城戸教育長】

説明は終わりました。御意見やご質問等お願いします。

【宮本委員】

高校の工業ですが、３１年度は電気・電子、土木、今年度が機械となっておりますが工業系はこの３科しかないのですか。他にはないのですか。

【松永教職員課長】

他にもございます。工業化学、建築などがございます。

【宮本委員】

最近はこの３科だけの採用を行っていますが他の科目の教員数は充足してきているということですか。

【松永教職員課長】

工業に関しては、機械と電気・電子につきまして、概ね隔年で実施してきております。昨年電気・電子を行っておりますので今年度は機械を実施いたします。その他の学科につきましては、設置している学校数が非常に少ないということもあり、教員の退職、再任用の状況を見て適宜実施するようにしております。土木には関しては、昨年とその２年前にも実施しておりましたので今回は欠員の状況を見て見送っております。

【城戸教育長】

他にございませんか。

【前田委員】

４ページですが、教員がなかなか集まらないということで、関東、関西などの県外での募集を昨年度２回実施されており、本年度も実施するということが、昨年度の実

績はいかがでしたしょうか。

【松永教職員課長】

昨年度の県外での実施状況でございますが、志願者は62名ございました。そのうち合格者は45名でございます。なお、その前の年は51名の志願に対しまして45名合格という状況でございます。

【城戸教育長】

他にございませんか。

【宮本委員】

先日、校長会に参加しました。女性校長は圧倒的に特別支援学校に多かったようですが、指導の現場では男性の力が必要とのことでした。職員の配置について偏りを是正する方法はないのでしょうか。

【松永教職員課長】

受験者数全体をみますと男性6割、女性4割という状況であり、合格者は、半々という状況でございます。とりわけ特別支援学校につきましては、女性合格者の方が多い状況でございます。

学校では子供を抱えたりする場面などがあり、体力的な面から男性職員が活躍することもあります。採用試験については、今のまま能力重視で実施する考えでございます。

【城戸教育長】

他にございませんか。

【清家委員】

競争倍率の高いもの、低いものを教えてください。

【松永教職員課長】

倍率については、小学校が一番低く1.4倍、高校が教科によって差がありますが、トータルでは7.5倍となっております。ちなみに特別支援学校も枠を広げておりますので1.5倍という状況で、合格者の質の確保という点では非常に苦慮しております。

【城戸教育長】

正規の充足率はどのようになっていますか。

【松永教職員課長】

小中学校の正規教員の割合が全国的に見ても低いことは、県議会でも取り上げられ、もっと教員を採用するなど、正規職員を確保するべきではないかということで現在取り組んでいるところでございます。実際に各学校に配置する配当定数に対する正規教員の割合が昨年度段階で88.6%でございます。一昨年度に比べて2ポイントほど上昇しております。

このまま取組を続けまして90%を超えて95%程度までもって行きたいと考えております。

【城戸教育長】

他にございませんか。

【宮本委員】

採用された方で、大学院修了者の割合はどのくらいでしょうか。

【松永教職員課長】

教職大学院の特別選考の実績でよろしいでしょうか。

【宮本委員】

はい。

【松永教職員課長】

昨年度の試験の状況では、27名が志願し、そのうち12名が合格をしております。その前年は18名が志願し、9名が合格と、10名前後の合格者を出している状況でございます。

【宮本委員】

ほかの一般の大学院修了者の方も受験しているのでしょうか。

【松永教職員課長】

特別選考は教職大学院だけが対象となるのですが、一種免許状所有者でさらに専修免許の取得を目的としている方は、大学院卒業まで採用の猶予期間をもうけるなどの措置をしております。

【木下委員】

競争倍率が低い状況なのですが、定員に達しない状況であっても、最低合格点などはあるのでしょうか。

【松永教職員課長】

ございます。教員としての資質を持っていただく必要はございますので、例えば2次試験の面接試験などで点数が低い方は、不合格となることもございます。

【木下委員】

足りない定員分はどのように補っているのでしょうか。

【松永教職員課長】

県外での選考で採用者数を確保しております。

【木下委員】

県外実施分は先ほどの1.4倍というのとは別に取り扱っているのですか。

【松永教職員課長】

別に取り扱っております。

【前田委員】

民間企業勤務経験者、障がいのある人の特別選考については昨年度どのような実績でしょうか。

【松永教職員課長】

障がいのある人の特別選考については、昨年度は3名合格者を出しましたが、2名辞退し、実際は1名が特別支援学校に採用されております。

民間企業経験者については、1名合格をしております。

【城戸教育長】

他にございませんか。

< な し >

【城戸教育長】

特にないようですので、本議案については了承します。

本日の議題は1件のみでございますので以上で本日の会議を終了いたします。
(14:20)